



「年頭にあたり」井上治三郎会長へインタビュー

新年にあたり、約2年ぶりに井上会長のもとに取材訪問しました。会長室のテーブルには、平成18年1月1日発行の世工振ニュースの前身である「無限創造」が置いてありましたが、これにはご就任直後の井上会長と当時の熊本世田谷区長との初めての対談記事が掲載されていて、懐かしく振り返りながらインタビューとなりました。



◀今年の日本経済の情勢をどのようにお考えでしょうか。▶

今年の景気は、去年並みに行けたらいいと思います。中国経済が減速して撤退している日本企業も増えているが、日本は、ものづくりを大事にしていることです。日本経済はものづくりが一番大事です。4年後の東京オリンピック・パラリンピックを成功させることが、世界から日本の見方も変わり日本経済もよくなっていくと思います。また、「AE-TOWER」(ソーラー避難誘導塔)もこれから付加価値を付けて多様化すると行政等も動き、量産化が出来るかと価格も抑えられて、もっと広がっていくと考えます。

◀世工振の会長になられて10年経ちますが、いかがでしょうか。▶

10年前は世田谷の人口は84万人。現在は88万人と増加しましたが、世工振の会員は212社から150社に減ってしまい、このような現状は考えないといけないと思います。また、体質改善、公益社団法人への移行と、この10年は変革期でした。もっと都・区等の助成金を上手に使って中小企業を活性化しなくてはなりません。これからも会員さんからの意見を聞き、それらを行政に吸い上げてもらうよう働きかけていきたいと考えます。また、世田谷区内の企業が4年後の東京オリンピック・パラリンピックに、何らかの形で関連を持つ事が必要だと思います。

◀これからの世工振の活動についてお聞かせください。▶

会員さんの中には、色々ユニークな考えをお持ちの方がいらっしゃるの、異業種とマッチングして区内で何かが出来ると面白いと思います。安心・安全は大事ですが、世田谷にもこんなものがある！とアピールしたいです。そのためにも各企業が安定した業績を上げていかないとけません。世工振も同様ですね。そして、住工共生し、安心・安全なまちづくりに努力します。

◀「世界らん展 日本大会」での審査員と伺っていますか。▶

日本が世界で最初に『香り』の審査を始めており、兄が全日本蘭協会の副会長の時にすすめられ、26年前から『香り』の審査員をしています。「拡散性、新鮮さ、上品さ、華やかさ」と4つの項目を審査します。また、フレグランス製品については、国・地域で『香り』の好みが違います。日本人は、柑橘系でみずみずしい『香り』が好きですが、南方の人は、こってりとした甘い『香り』が好きですね。

平成27年度「会長表彰式」が開催されました

1月15日(金)、新春経済講演会終了後、世田谷産業プラザ4階会議室において初めての会長表彰式を挙行了しました。この表彰制度は、昨年10月の理事会において新規事業として承認されたものです。対象者は、審査会を経て、下記3名の方に決定されました。

【受賞者】(順不同・敬称略)

👉小林 克二 [共伸建設(株)]、👉大槻 昌央 [東洋ドライループ(株)]、👉田村 拓也 [いであ(株)]

表彰内容は、自社において豊富な経験のもと、小林さんは、主任技術者として高度な知識と技術を伴う力量を発揮し、下水道工事の難工事に取組んだこと。大槻さんは、営業職として入社以来、自社製品の拡販に尽力し、新規事業においても業務の中心となって活躍し、軌道に乗せたこと。田村さんは、事務職として株主総会の企画、運営等、困難業務である会社総務業務に尽力し、社の重要な人材として活躍したこと。これらの実績が、表彰規程にうたう企業の発展と地域産業の振興に寄与したものでありました。

今後、若手社員の指導を含め、自社において益々のご活躍を期待いたしております。

受賞された皆様、おめでとうございます！！



(左より小林さん、大槻さん、田村さん)

「新春経済講演会」、元気をいただきました。



1月15日(金)、15:00より世田谷産業プラザ5階「スワン・ピーナス」において、ミスノ俵会長の水野 正人氏による「2020TOKYO大会のレガシー ～明るく健全な社会づくり～」と題する講演会が開催されました。講師をお引き受けいただいた時に「新年であるので明るいお話をさせていただきます。」と語っておられましたが、その言葉の通り、約50名の参加者からは、「楽しいお話を聞けてよかった。」「前向きになりました。」との感想が多くありました。そして皆様、明るいお顔で「新年賀詞交歓会」に向かわれました。

(明るく熱弁中の水野氏)



(講演会風景)



「新年賀詞交歓会」、盛会でした！

左記「新春経済講演会」終了後、17:00から同プラザ3階大会議室において「新年賀詞交歓会」が、華々しく開催されました。井上会長の挨拶から始まり、保坂展人世田谷区長をはじめ、上島よしもり区議会議長、桑島俊彦世田谷区商店街連合会会長よりご祝辞を頂きました。昨年より多くのご来賓、会員の方々がご参加下さいましたおかげで活発な交流が図られました。予定時間はあっという間に過ぎ村上副会長の流暢な締めで名残惜しく散会となりました。ご出席の皆様ありがとうございました。今年も皆様にとりまして健康で穏やかな年でありますように。

(保坂区長へ挨拶)



(来賓の方々)





お知らせ



一般社団法人 東京工業団体連合会主催 33 地域団体共催

「新入社員合同ビジネスマナー研修」のご案内

新入社員が即戦力となるためのステップとして、この研修を受講されては、いかがでしょうか！！

当研修は、講師の一方的な講義ではなく、グループワークやロールプレイを中心に受講生自ら主体的に参加できるものです。これにより、受講生自ら「気づき」を得ることができ、更に心に強く残ることから、これからの長い社会人生活においてたいへん役にたつことが期待できます。

【実施概要】

- ・教材費等：お一人様 8,000 円 [世工振がお一人様 4,000 円を助成します]
 - ・実施日：4月4日(月)、5日(火)
 - ・実施時間：9:30~17:00
 - ・応募締切：3月28日(月)(定員になり次第締切)
 - ・対象人数：30名迄
 - ・会場：銀座プロッサム中央会館 7階会議室
 - ・お問合せ：工団連事務局 担当：遠藤
- *詳しくは、同封のチラシをご覧ください。 電話 03-3546-2525

「ものつくるひと展2016」～工作ワークショップ～ 開催します

このたび世田谷の「ものづくり」と人々の魅力を紹介する小冊子「ものつくるひと」を発行しましたが、本展では、誌面で書ききれなかったことや61社のものづくりの熱い想いを写真パネルで紹介します。また、みなさんに「ものづくり」を楽しんでいただけるような子供から大人まで参加できる体験プログラムも準備してお待ちしております！

- ・日程：2月11日(木・祝日)~13日(土)
- ・会場：IID 世田谷ものづくり学校 1F ギャラリー
世田谷区池尻 2-4-5 電話 5481-9011

＜体験ワークショップ＞

- ・内容：「家族の思い出にのこるバレンタインプレゼントをつくろう！」
「ダンボールでDr. リンと冬でもクワガタつくろう！」
 - ・参加対象：3歳以上大人まで(小さなお子様は保護者の方)
 - ・費用：500円(税込) 同伴でご参加ください
 - ・お問合せ&申込先：(公財) 世田谷区産業振興公社
電話：3411-6715(平日 9時~17時 30分)
- *詳しくは、同封のチラシをご覧ください。



「あなたの会社の良さ伝わっていますか？」

～スモールビジネスを成功に導く WEB 活用セミナー～

今、HP・FB・ブログ…ビジネスを成功に導くためにはWEBの活用は不可欠です！今回、WEBを使ってどのように運用していくべきか、また、自社の魅力を伝え企業価値を高めるため必要なブランディングについても解説します。終了後、交流を深めていただけるような立食形式による交流会も開催します。ぜひご参加ください。

- ・日時 2月12日(金) 17:30~
- ・会場 IID 世田谷ものづくり学校 3F 2-A 教室
- ・定員 30名程度
- ・費用 無料

*詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

「住工共生まちづくりワーキング」開催します！

「住工共生まちづくりワーキング」も、今年で4年目になりました。

今年度の締めくくりとして、昭和女子大学の学生さんによる桜新町地区をモデルとした「まちづくり」の提案の発表と意見交換を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしています！

- 開催日：2月15日(月)
- 時間：18:00~20:30
- 場所：桜新町区民集会所 1F
世田谷区桜新町 1-30-14
- 締切り：2月5日(金)
- 申込先：世工振事務局 山口
- 電話 3421-2863



福島復興支援の会員さんからの情報！！

1月20日(水)、『池袋サンシャインシティホールA』において、福島県主催、復興庁及び農林水産省後援で開催された「美味しいものどころ ふくしまの恵み商談会」に、世工振会員の合同会社『オフィスカナエ』さんが、東京都代表として出展されました。

新聞社、テレビ局等の取材もあり、大盛況のなか、約100社のバイヤーの方々と名刺交換されたとのこと、福島県の伝統工芸品「会津木綿」と、福島県産の農産物を使ったクッキーを製造・販売され、「福島」に強い関心を持たれる宮川社長は、「今後も福島県の発展・復興支援に寄与していきたい。」と話されていました。

世工振も、福島の日も早い復興を願うばかりです。

（世工振のフレイトをお持ちの宮川社長）

